

販売用資料
2018年2月

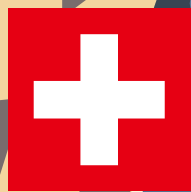
特化型

スイス好配当株式ファンド

(為替ヘッジあり) / (為替ヘッジなし)

追加型投信 / 海外 / 株式

(愛称) アルプスの恵み



SWITZER LAND

投資信託は、元本が保証された商品ではありません。お申込みの際は、必ず「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

●お申込み・投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は



東海東京証券

商号等 / 東海東京証券株式会社

金融商品取引業者 東海財務局長(金商)第140号

加入協会 / 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

一般社団法人第二種金融商品取引業協会

●設定・運用は



明治安田アセットマネジメント

商号等 / 明治安田アセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第405号

加入協会 / 一般社団法人投資信託協会

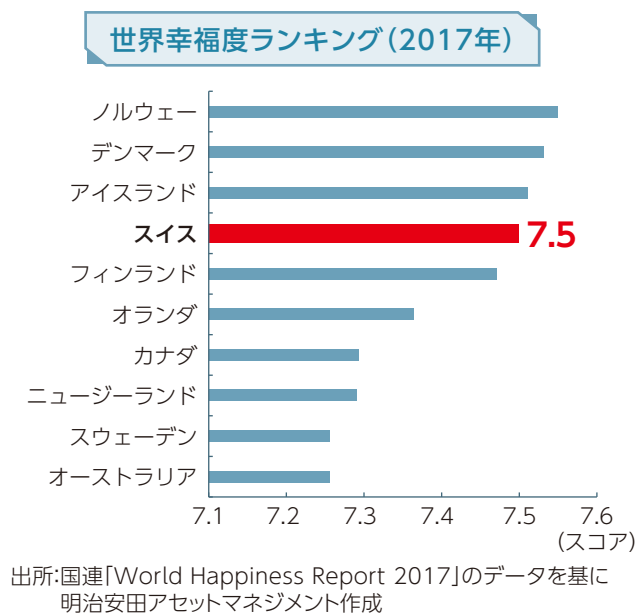
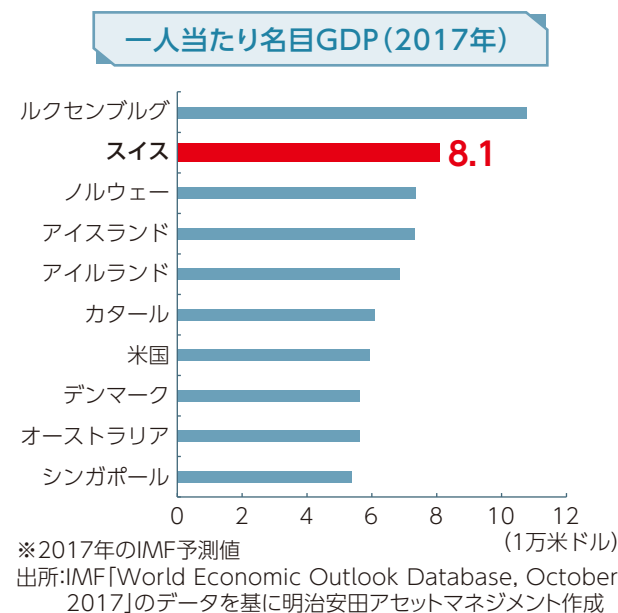
一般社団法人日本投資顧問業協会

世界屈指の国際競争力を持つ永世中立国スイス 3つの魅力



1 世界有数の豊かさ

- スイスの一人当たり名目GDP(2017年)は第2位と、世界有数の豊かさを誇ります。
- 豊かさは世界中の優れた人材をスイスに惹き付け、その人材がスイス企業を支えるという好循環が起きていると考えられます。



2 世界屈指の国際競争力

- スイスは世界屈指の国際競争力を持ちます。高水準の“イノベーション力”が、その国際競争力を支えています。
- イノベーション力の源泉は、有能な人材、高い技術力、さらに信頼の高い政治経済システムです。

9年連続1位評価の国際競争力

国際競争力ランキング

順位	2009-10	2010-11	2011-12	2012-13	2013-14	2014-15	2015-16	2016-17	2017-18
1	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス	スイス
2	米国	スウェーデン	シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール	シンガポール	米国
3	シンガポール	シンガポール	スウェーデン	フィンランド	フィンランド	米国	米国	米国	シンガポール
4	スウェーデン	米国	フィンランド	スウェーデン	ドイツ	フィンランド	ドイツ	オランダ	オランダ
5	デンマーク	ドイツ	米国	オランダ	米国	ドイツ	オランダ	ドイツ	ドイツ

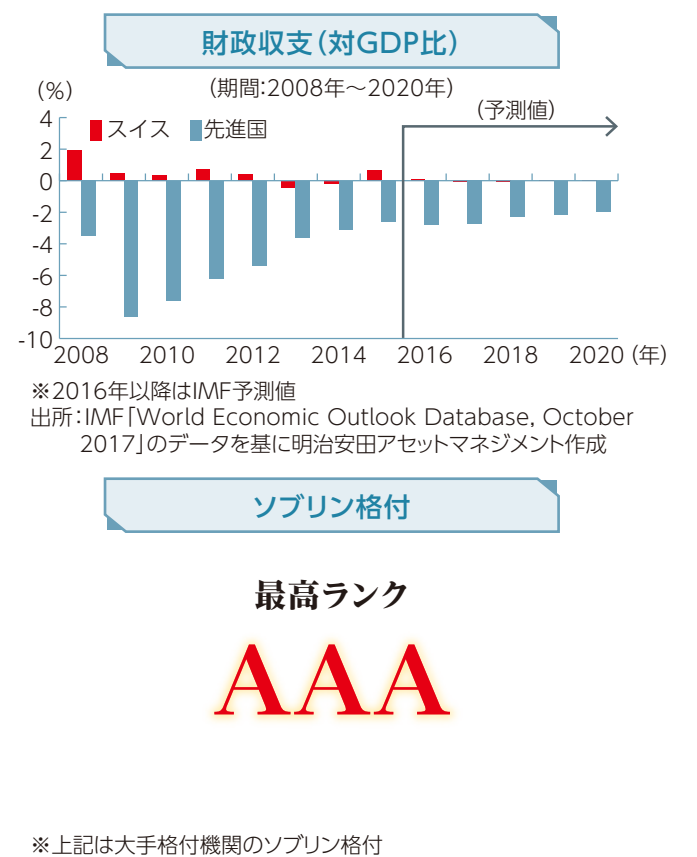
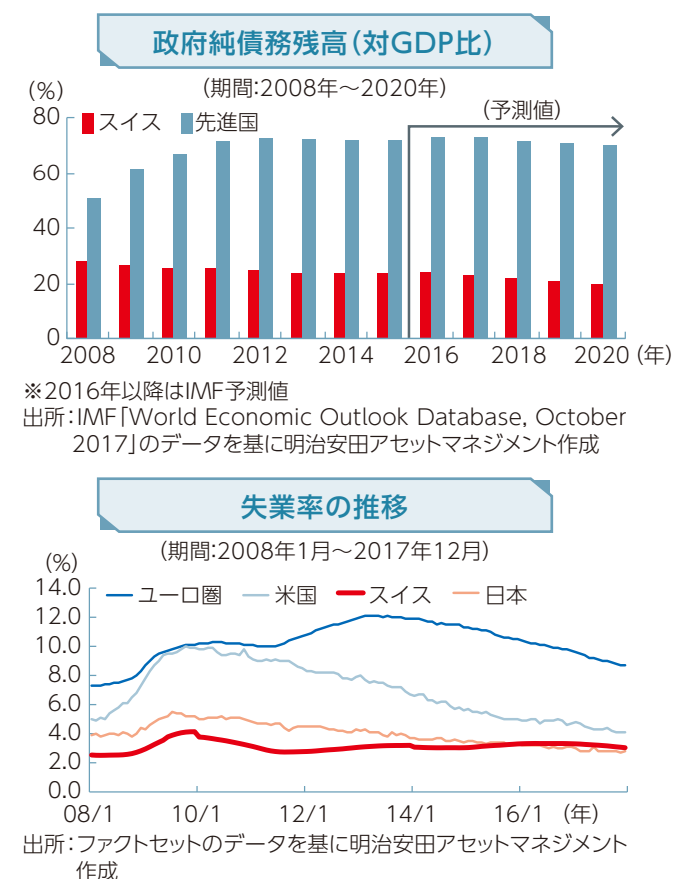
出所:世界経済フォーラム(WEF)「The Global Competitiveness Report」各年版、経済産業省「我が国の産業技術に関する研究開発活動の動向」(平成30年2月)のデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

※上記はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。



3 世界トップクラスの信頼感

- スイスの政府純債務残高は他の先進国に比べて小さく、財政収支はほぼ均衡しています。
- 雇用も安定しており、国債の信頼度を表すソブリン格付も最高ランクです。



スイスの基礎データ

首都	ベルン
面積	約4.1万km ² (九州とほぼ同じ広さ)
人口	約842万人(2016年。大阪府とほぼ同じ)
言語	ドイツ語、フランス語、イタリア語、ロマンシュ語
政体	連邦共和制(26の州により構成)
通貨	スイスフラン
名目GDP	6,690億米ドル(2016年)
主要産業	機械・機器、金融、食品、製薬、観光、農業等

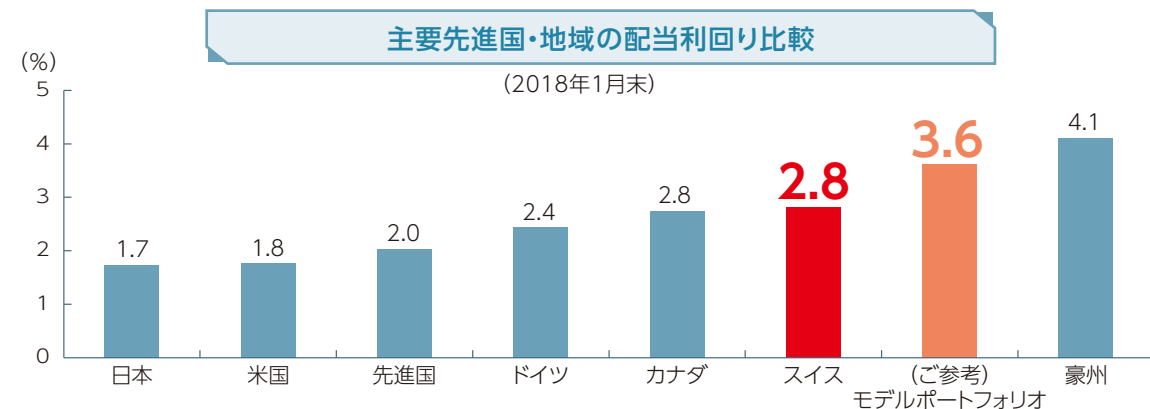
出所:IMF、外務省ホームページ等のデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

スイス株投資がもたらす 3つの“恵み”

「スイス好配当株式ファンド(為替ヘッジあり)／(為替ヘッジなし)(愛称)アルプスの恵み」は、スイスの好配当株式に分散投資し信託財産の成長を目指すファンドです。

恵み1 魅力的な配当水準

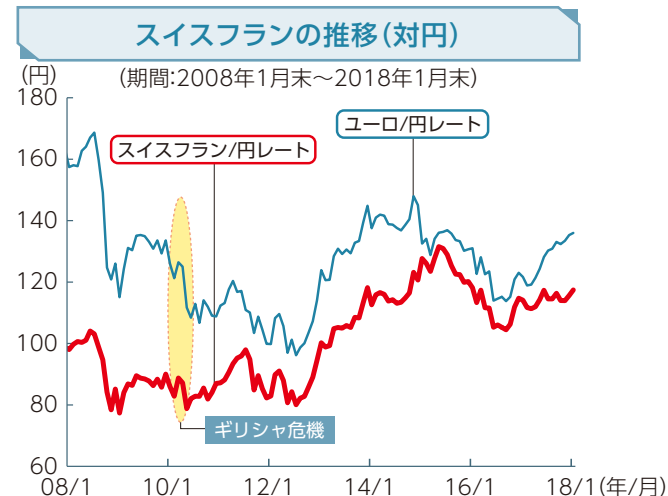
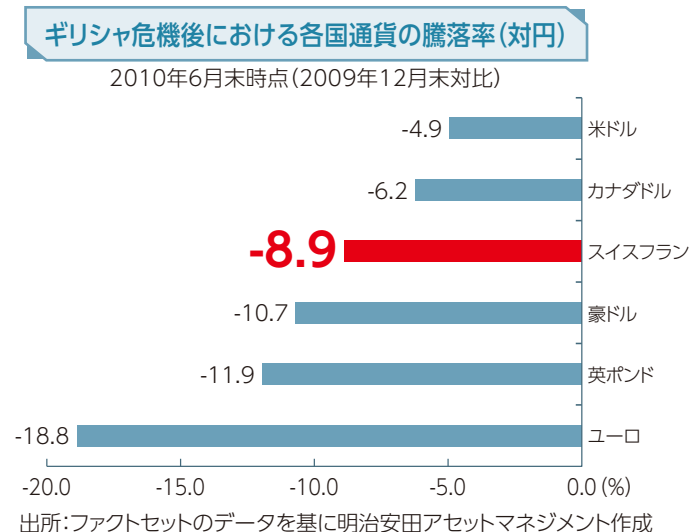
国際競争力とそれを支えるイノベーション力があふれる企業が集積するスイスの配当利回りは、主要先進国・地域と比較して魅力的な水準にあります。



※日本:TOPIX、米国:S&P500種指数、先進国:MSCI World 指数、ドイツ:DAX指数、カナダ:S&Pトント総合指数、スイス:スイス・パフォーマンス指数、豪州:S&P ASX200指数
 ※モデルポートフォリオの配当利回りはP6に掲載しているモデルポートフォリオをベースにしております。今後見直しを行う可能性があるため、ファンド設定時のポートフォリオの状況、組入銘柄等を保証するものではありません。
 ※税金等を考慮していません。
 出所:ファクトセット、トムソン・ロイター・データストリームのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

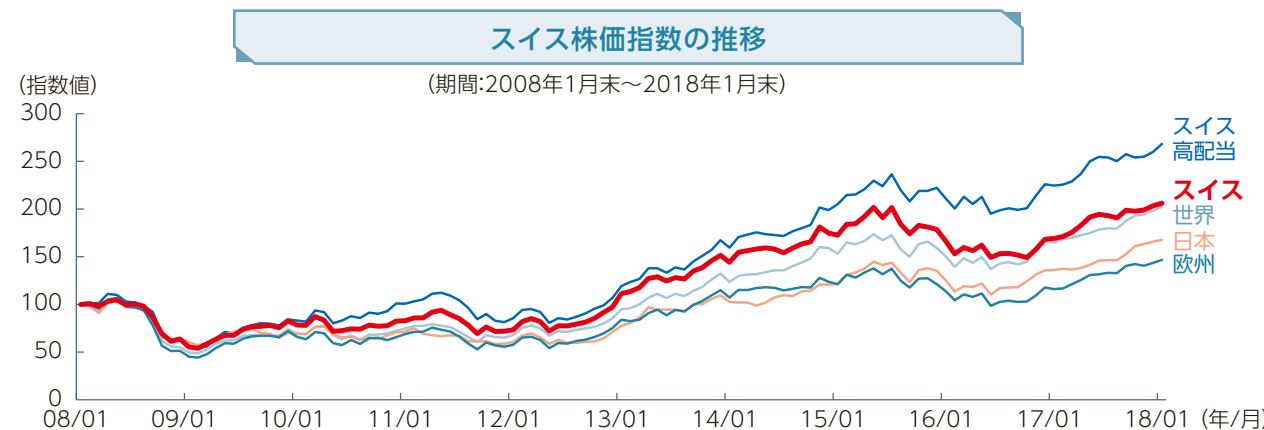
恵み3 下落局面に強い通貨スイスフラン

スイスフランは、“安全通貨”として選好される傾向にあります。例えば、ギリシャ危機後、2010年6月に最安値を記録したユーロ等の通貨に比べて、スイスフランの下落幅は小さくなっています。



恵み2 良好な市場パフォーマンス

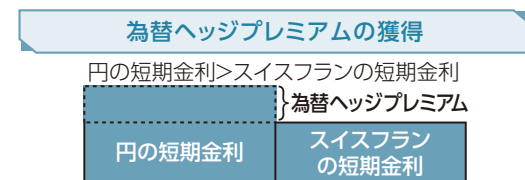
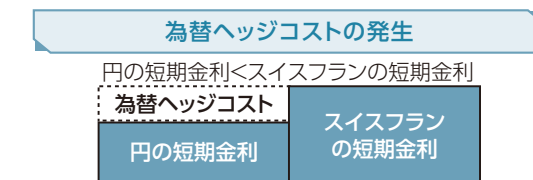
スイス株式は、過去10年でみると、主要先進国・地域と比較して良好な市場パフォーマンスとなっています。



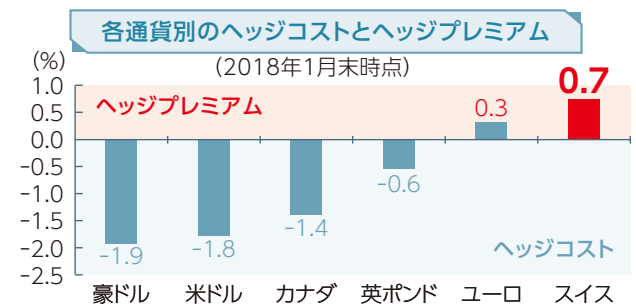
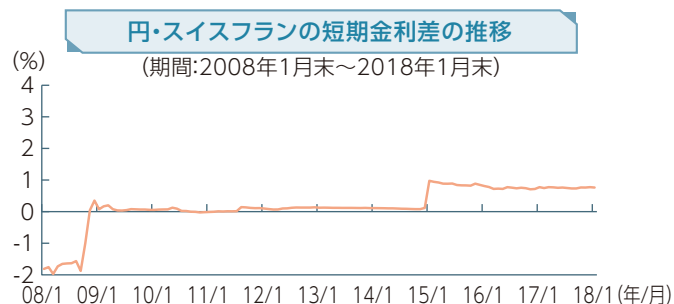
※各指数は2008年1月末を100として指数化 ※いずれも配当込み、円ベース
 スイス高配当:Dow Jones Switzerland Select Dividend 20指数、スイス:スイス・パフォーマンス指数、世界:MSCI World指数、日本:東証株価指数(TOPIX)、欧州:MSCI欧州指数
 ※各株価指数は当運用戦略のベンチマークではありません。
 出所:ファクトセット、トムソン・ロイター・データストリームのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

+ (参考) 為替ヘッジについて

- スイス好配当株式ファンド(為替ヘッジあり)では対円で為替ヘッジを行い、為替変動リスクを低減する運用を行います。
- スイスは近年、日本よりも金利水準が低いため、対円で為替ヘッジを行った場合、為替ヘッジプレミアムを獲得できる状況です。(2018年1月末時点)



※上記はイメージ図です。
 為替ヘッジコスト／プレミアムの決定要因は上記に限定されるものではありません。為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図りますが、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。



※短期金利差は円の短期金利－スイスフランの短期金利
 ※短期金利は各通貨の1ヵ月LIBOR
 出所:ファクトセットのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

※各通貨・円の直物レートおよび先物(1ヵ月)レートの実勢値より算出(年率換算)
 出所:ファクトセットのデータを基に明治安田アセットマネジメント作成

ファンドの特色

1 スイスの好配当株式に分散投資し信託財産の成長を目指します。

- スイス好配当株式マザーファンド(以下、「マザーファンド」ということがあります。)への投資を通じて、主にスイスの株式の中から配当利回りの水準に着目して、実質的に好配当株式へ分散投資することにより、安定した配当収益の確保と中長期的な値上がり益の獲得を目指します。
- 主に配当利回りの水準に着目しつつ、企業の財務状況、流動性およびバリュエーション等から投資魅力のある銘柄を選定し、ポートフォリオの平均予想配当利回りが市場平均以上になることを目指して運用を行います。

2 スイス株式の実質的な運用に当たっては、ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント(スイス)エス・エーより投資に関する助言を受けて運用を行います。

ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント(スイス)エス・エーについて

約220年の歴史を持つスイスのロンバー・オディエ・グループ*の資産運用会社(1972年1月設立)であり、スイス株式の運用に定評があります。
*ロンバー・オディエ・グループは、1796年創業のスイス及び欧州における最大級、かつ最も歴史あるプライベート・バンクです。グローバルに展開するプライベート・バンクとして、『資産を守り育てる』という専門性を軸にした幅広いサービスを提供しています。
運用資産残高1,790億米ドル(2017年6月末現在)

3 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

<為替ヘッジあり>

実質組入外貨建資産については、原則として円を対貨とする為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ります。ただし、通貨間の為替変動の影響をすべて排除できるわけではありません。

<為替ヘッジなし>

実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジは行いません。基準価額は為替レートの変動の影響を直接受けます。

※各ファンド間でスイッチング(乗換え)が可能です。

※販売会社によっては、スイッチングのお取扱いを行わない場合があります。また、どちらか一方のファンドのみのお取扱いとなる場合があります。詳しくは販売会社にお問合わせください。

分配方針

年2回(毎年3月、9月の17日。休業日の場合は翌営業日。)に決算を行い、以下の方針に基づいて分配を行います。

- 分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当等収入と売買益(評価益を含みます。)等の全額とします。
- 収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。
- 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

※将来の収益分配金の支払いおよびその金額について示唆・保証するものではありません。

ファンドの仕組み

当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式とは、お客さまからご投資いただいた資金をベビーファンドとしてまとめ、その資金を主としてマザーファンドに投資することにより、実質的な運用をマザーファンドで行う仕組みです。

当ファンドは特化型運用を行います。

特化型運用ファンドとは、一般社団法人投資信託協会規則に定める寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するファンドをいいます。

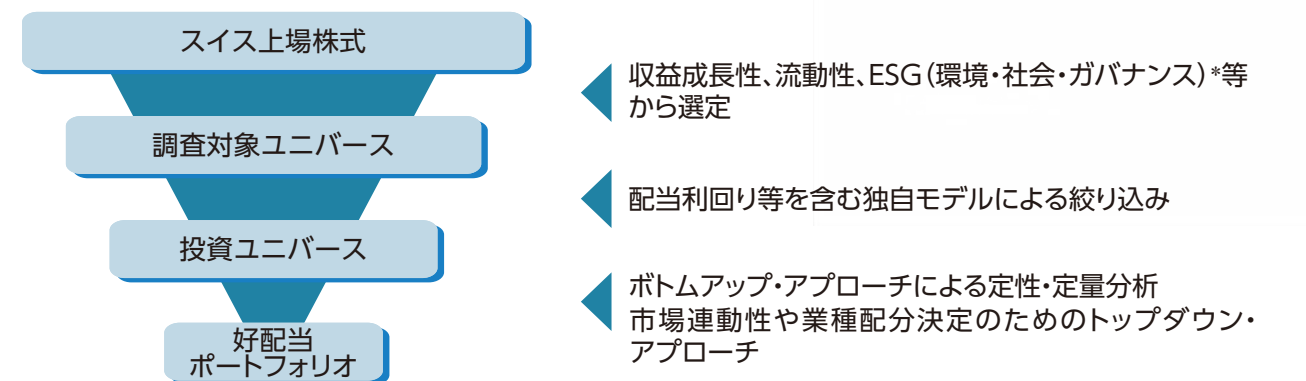
※寄与度とは投資対象候補銘柄の時価総額の合計額における一発行体あたりの時価総額が占める割合または運用管理等に用いる指数における一発行体あたりの構成割合をいいます。

当ファンドの実質的な投資対象であるスイス株式には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在するため、投資先について特定の銘柄への投資が集中することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化が生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

資金動向、市況動向等によっては、上記のような運用ができない場合があります。

運用プロセス

銘柄選定にあたっては、相対的に配当利回りが高く、安定的なキャッシュフローと収益を生み出し、かつ相対的に割安で高品質と判断されるスイス企業を厳選します。

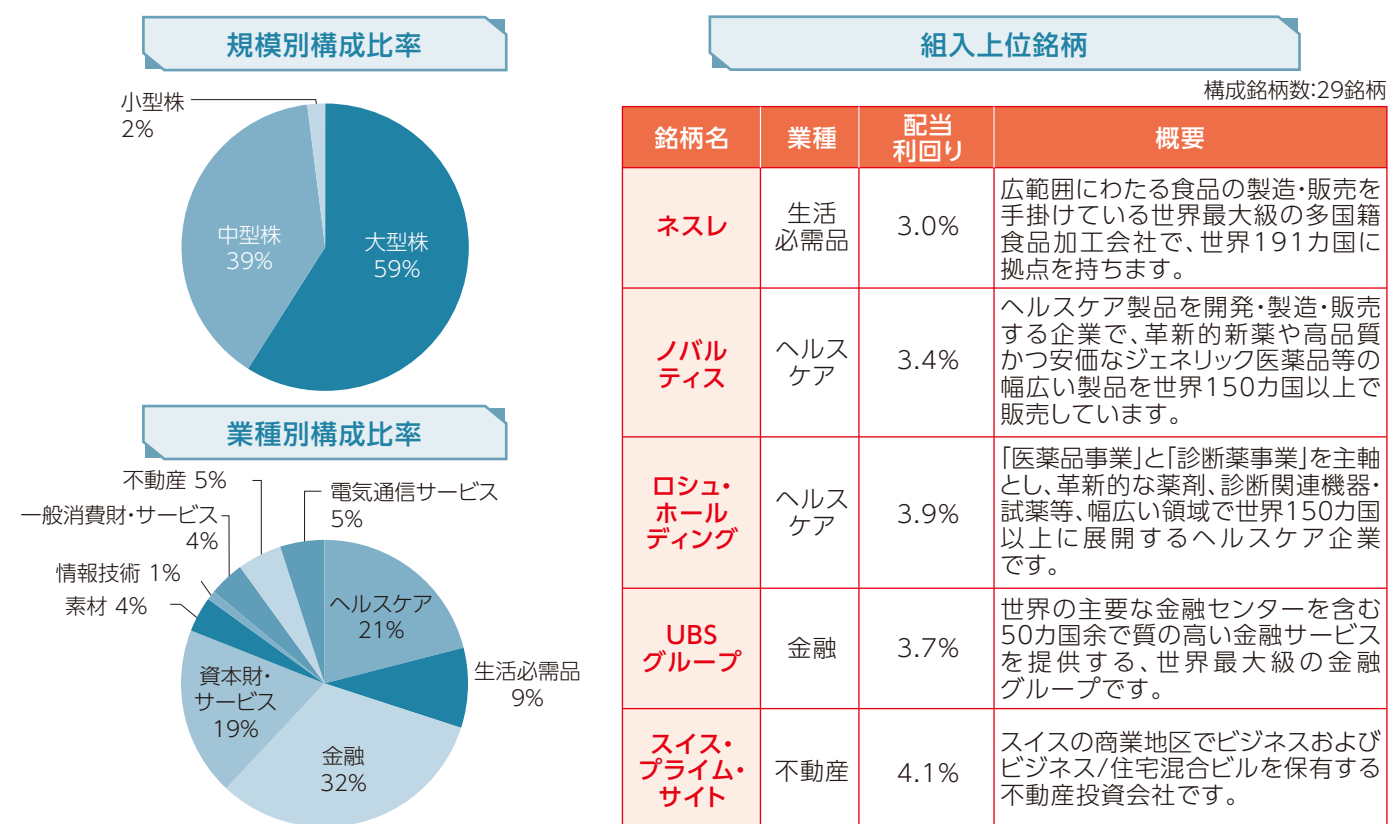


*ESG(環境・社会・ガバナンス)について
環境・社会・ガバナンス(企業統治)の頭文字をとったもので、ESGに取り組む企業は、「持続可能な社会」の形成に寄与しているとされます。一般に、ESGに配慮している企業は、持続的成長が見込めるなどの特徴があり、これら企業への投資はパフォーマンス向上につながるとされます。

※運用プロセスは今後変更される場合があります。

ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント(スイス)エス・エーの投資助言に基づき、明治安田アセットマネジメントが運用指図を実行します。

マザーファンドのモデルポートフォリオ (2018年1月末時点)



※大型株:SPI Large Index構成銘柄、中型株:SPI Mid Index構成銘柄、小型株:SPI Small Index構成銘柄。各指数はスイス・パフォーマンス指数(SPI)における規模別指数。

※比率の合計は四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

※2018年1月末時点のマザーファンドのモデルポートフォリオであり、今後見直しを行う可能性があるため、ファンド設定時のポートフォリオの状況、組入銘柄等を保証するものではありません。

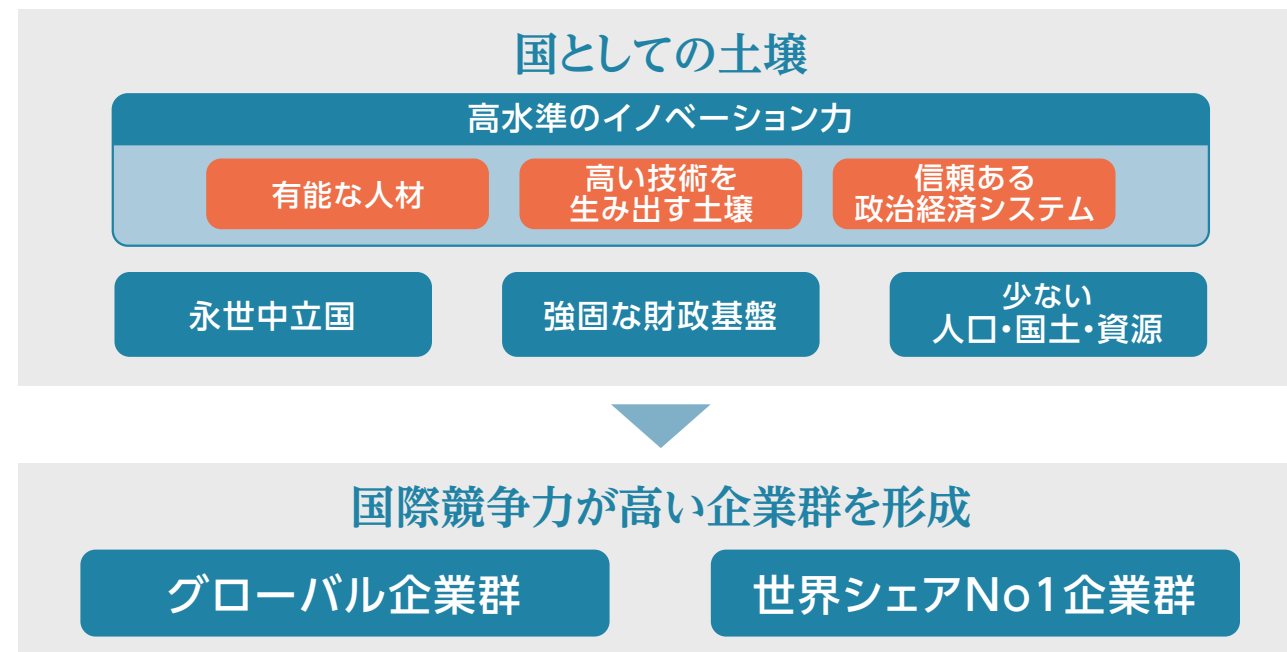
出所:ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント(スイス)エス・エーのデータ、各種資料を基に明治安田アセットマネジメント作成

※上記は個別銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではなく、今後当ファンドが当該銘柄に投資することを保証するものではありません。
※業種はGICS分類を使用しております。

銘柄紹介 国際競争力の高いスイス企業の中から好配当の銘柄を中心に厳選

※2018年1月末に作成したマザーファンドのモデルポートフォリオの銘柄を紹介するものであり、ファンド設定時に組み入れることを保証するものではありません。

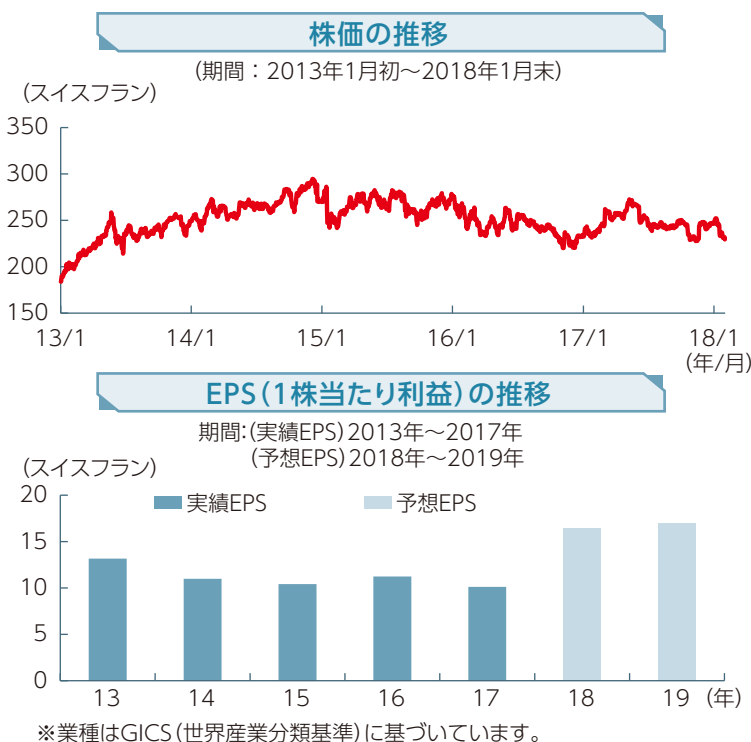
スイス企業の特徴 世界NO.1 グローバル イノベーション



+ ロシュ・ホールディング 業種：ヘルスケア 規模：大型株

■医薬品事業と診断薬事業を主軸とし、革新的な薬剤、疾患の早期発見等の診断関連機器・試薬などを展開するグローバルヘルスケア企業です。

■病気の要因に応じて治療を行う「個別化医療」がグループ戦略の中心で、医薬品事業はロシュファーマと中外製薬で構成。また、診断薬事業は、糖尿病ケア、遺伝子検査等で構成されています。



出所: ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント(スイス) エス・エー、ファクトセットのデータ、各種資料を基に明治安田アセットマネジメント作成

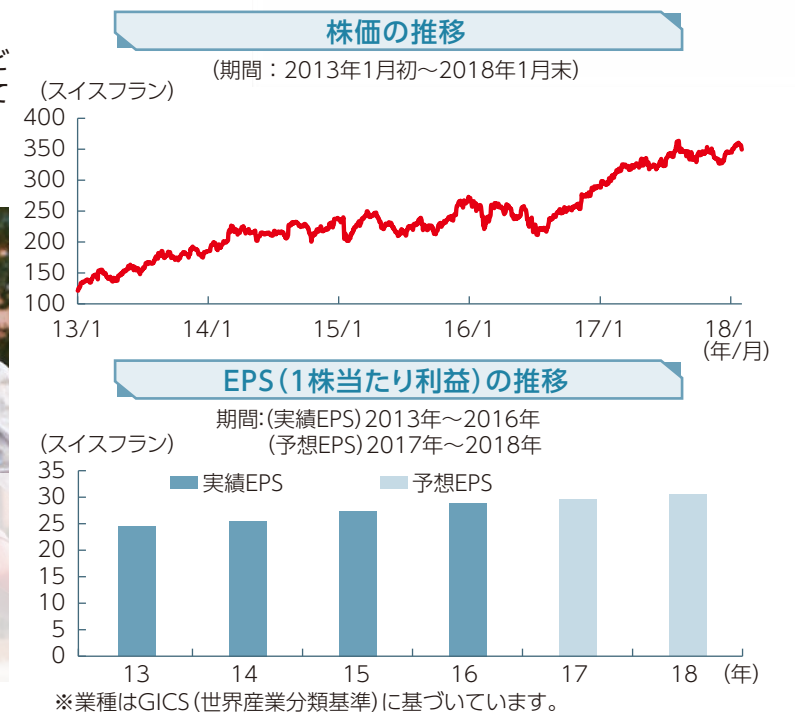
※上記は個別銘柄の推奨または投資勧誘を目的としたものではなく、今後当ファンドが当該銘柄に投資することを保証するものではありません。

※上記はあくまで過去の実績であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。また、当資料に掲載される予測、見通し、見解のいずれ

+ スイス・ライフ・ホールディング 業種：金融 規模：大型株

■各種金融サービスを提供する企業です。

■生命保険、損害保険、機関投資家向けの運用サービス、プライベート・バンキング・サービスを提供しています。

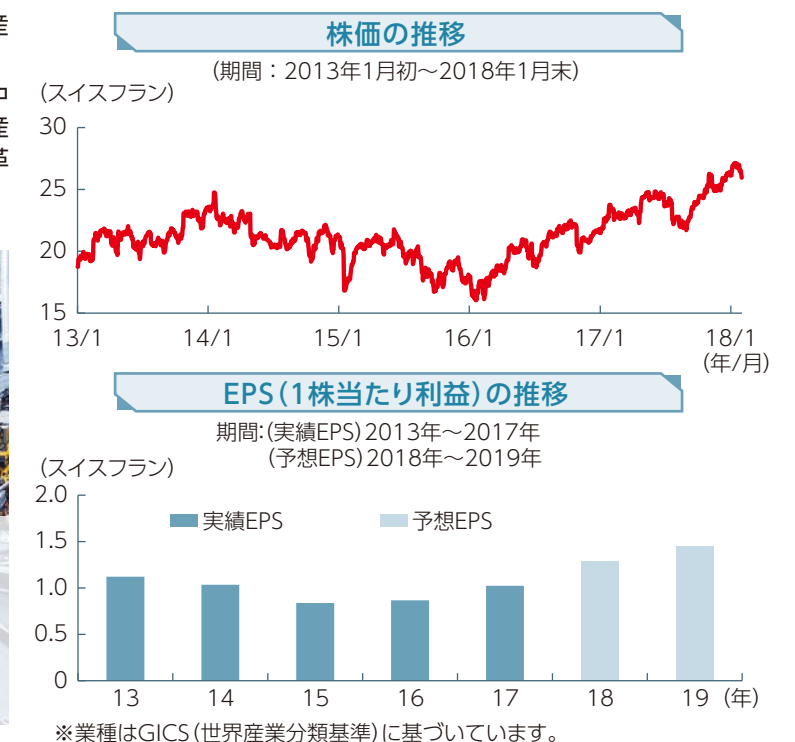
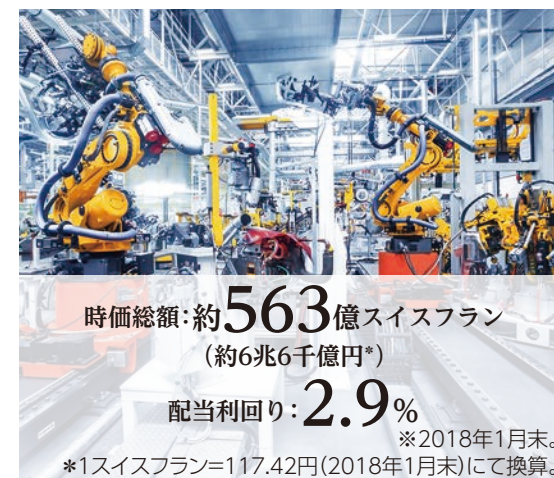


出所: ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント(スイス) エス・エー、ファクトセットのデータ、各種資料を基に明治安田アセットマネジメント作成

+ ABB 業種：資本財・サービス 規模：大型株

■世界約100カ国に135,000人の従業員を擁する産業技術の世界的リーダーです。

■電力、一般産業、交通・インフラの各分野を世界中で支援しており、技術革新に伴いデジタル化する産業の未来を見据え、エネルギー革命、第4次産業革命を推し進めている企業です。

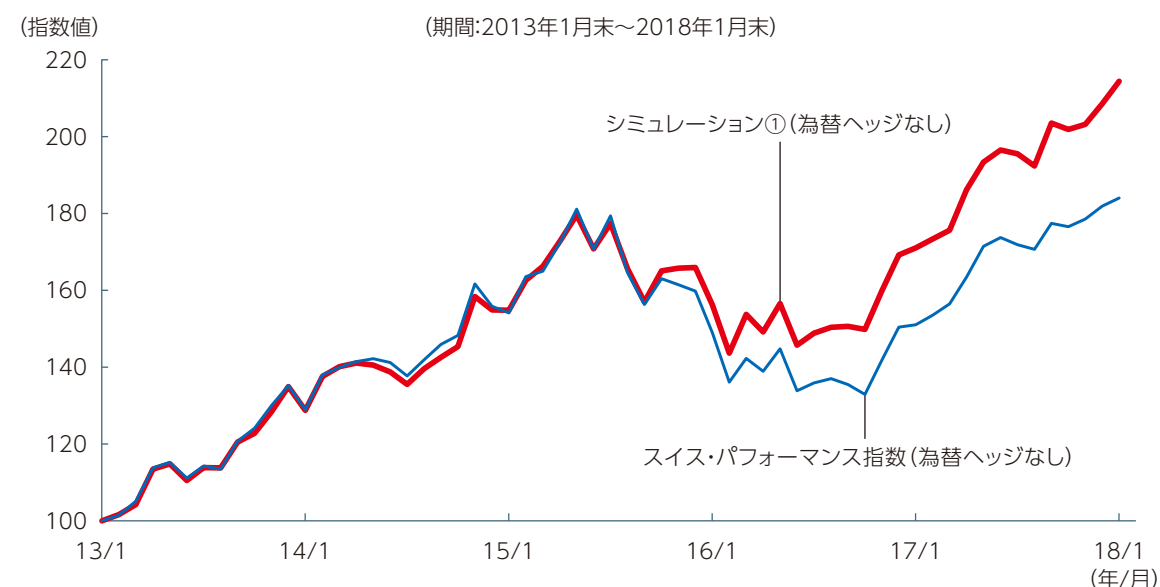


出所: ロンバー・オディエ・アセット・マネジメント(スイス) エス・エー、ファクトセットのデータ、各種資料を基に明治安田アセットマネジメント作成

も実現される保証はありません。

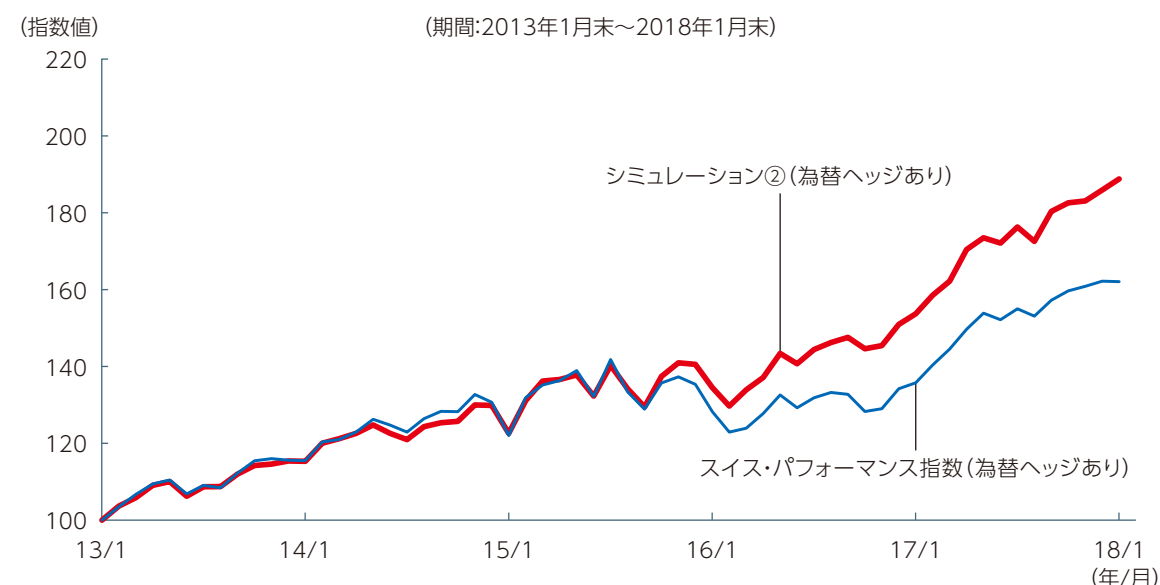
マザーファンドのモデルポートフォリオ パフォーマンスのシミュレーション

パフォーマンスのシミュレーション①(為替ヘッジなし)



※2013年1月末を100として指数化

パフォーマンスのシミュレーション②(為替ヘッジあり)



※2013年1月末を100として指数化

※為替ヘッジコスト/プレミアムは、スイスフラン・円の直物レートおよび先物(1ヵ月)レートの実勢値より算出

シミュレーションの前提条件

・2018年1月末時点のモデルポートフォリオの構成銘柄、構成比率を基に、過去にさかのぼって試算(月次リバランス)し、2013年1月末を100として指数化しています。

※上記は当運用戦略の実際の運用実績ではなく、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※スイス・パフォーマンス指数は当運用戦略のベンチマークではありません。

※実際の運用開始時に当たって構成銘柄、構成比率は変更される場合があります。

※手数料、税金等は考慮しておりません。

投資リスク

※詳しくは、最新の投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

基準価額の変動要因

スイス好配当株式ファンド(為替ヘッジあり)、スイス好配当株式ファンド(為替ヘッジなし)は、直接あるいはマザーファンドを通じて、海外の株式等、値動きのある証券に投資します(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。

したがって、金融機関の預貯金と異なり投資元本は保証されず、元本を割り込むおそれがあります。また、ファンドの信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

なお、ファンドが有する主なリスクは、以下の通りです。

<主な変動要因>

株価変動リスク	株式の価格は、政治・経済情勢、金融情勢・金利変動等および発行体の企業の事業活動や財務状況等の影響を受けて変動します。 保有する株式価格の下落は、ファンドの基準価額を下げる要因となります。
為替変動リスク	外貨建資産への投資については、為替変動による影響を受けます。ファンドが保有する外貨建資産の価格が現地通貨ベースで上昇する場合であっても、当該現地通貨が対円で下落(円高)する場合、円ベースでの評価額は下落することがあります。為替の変動(円高)は、ファンドの基準価額を下げる要因となります。 ●「為替ヘッジあり」は、為替ヘッジを行い為替変動リスクの低減を図りますが、影響をすべて排除できるわけではありません。為替ヘッジに伴うコストが発生し、基準価額が変動する要因となります。 ●「為替ヘッジなし」は、為替ヘッジを行わないので、基準価額は為替レートの変動の影響を直接受けます。
特化型運用にかかるリスク	当ファンドの投資対象には、寄与度が10%を超える又は超える可能性の高い支配的な銘柄が存在することがあり、当該支配的な銘柄に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。
信用リスク	投資している有価証券等の発行体において、利払いや償還金の支払い遅延等の債務不履行が起こる可能性があります。 また、有価証券への投資等ファンドに関する取引において、取引の相手方の業績悪化や倒産等による契約不履行が起こる可能性があります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

その他の留意点

- 有価証券を売買しようとする際、需要または供給が少ないため、希望する時期に、希望する価格で、希望する数量を売買できなくなることがあります。
- 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。ファミリーファンド方式には運用の効率性等の利点がありますが、マザーファンドにおいて他のベビーファンドの追加設定・解約等に伴う売買等を行う場合には、当ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。
- 資金動向、市況動向等によっては、投資方針に沿う運用ができない場合があります。
- 収益分配は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含みます。))を超えて行われる場合があるため、分配水準は必ずしも当該計算期間中の収益率を示すものではありません。投資者の個別元本(追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本)の状況により、分配金額の全部または一部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。分配金は純資産から支払われるため、分配金支払いに伴う純資産の減少により基準価額が下落する要因となります。当該計算期間中の運用収益を超える分配を行う場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べ下落することとなります。

当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

######